検査担当者のための設計図

カスタムポリメーラーの見積もりを厳格に評価し、製造品質を検証する方法。



素材
共押出LDPE/HDPE

厚さ:
2.5 MIL ± 5%

シールタイプ:
粘着式

フラップ長さ:
1.5インチ

引裂強度:
888G(エルメンドルフ)

印刷品質
フレキソ印刷 400 DPI

同一に見える見積もりの錯覚

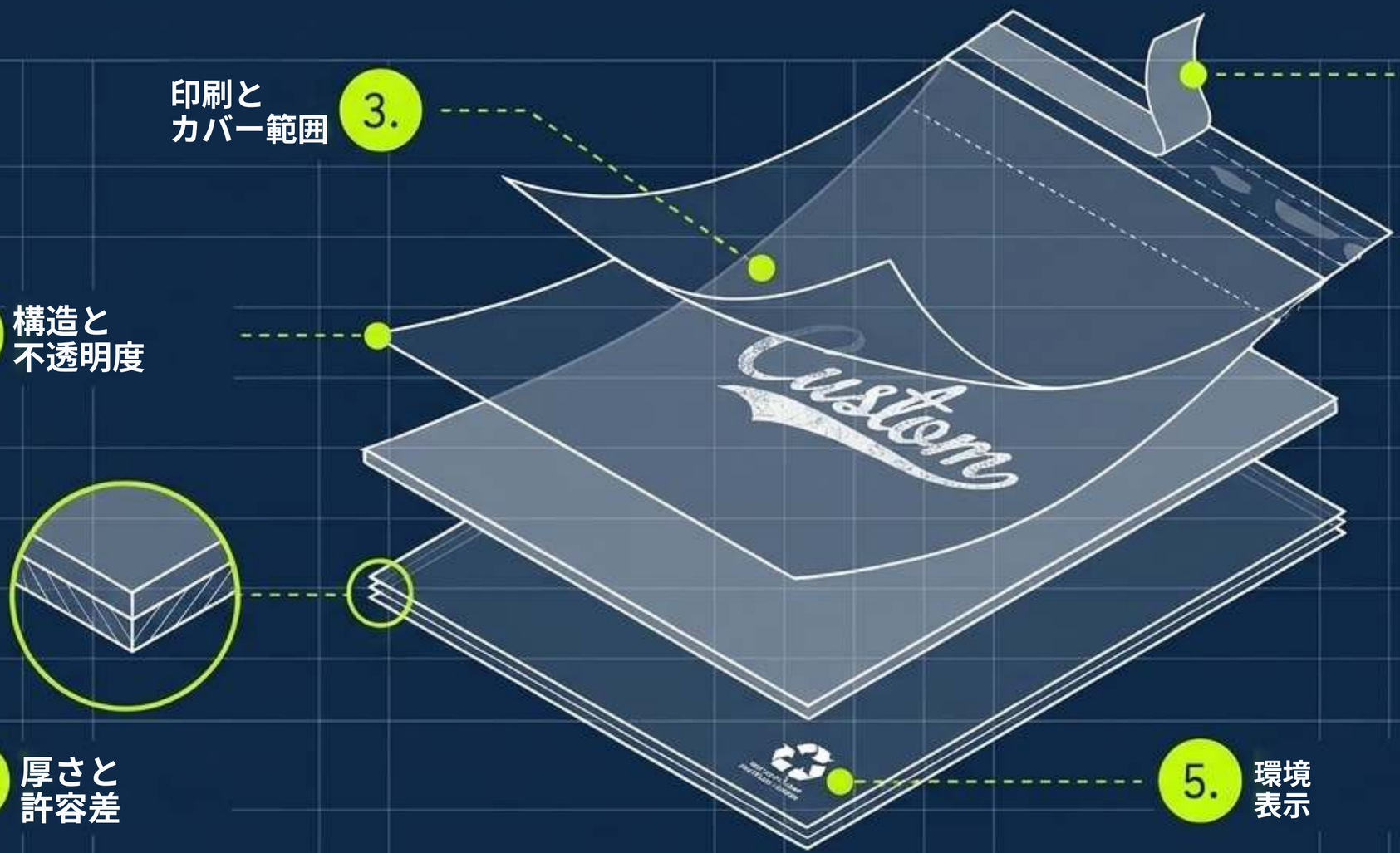
サイズ、mil値、単価という3つの標準項目は、メーラーがフルフィルメントのシフトに耐えられるかを左右する変数を覆い隠します。推測の本当の代償は梱包ラインで表面化します。

サイズ:10x13 | 厚さ:2.5 mil | 印刷:カスタム | 価格:$0.15



実物サンプルで確認できない見積もりは、比較の根拠になりません。

検証可能な見積もりの構造



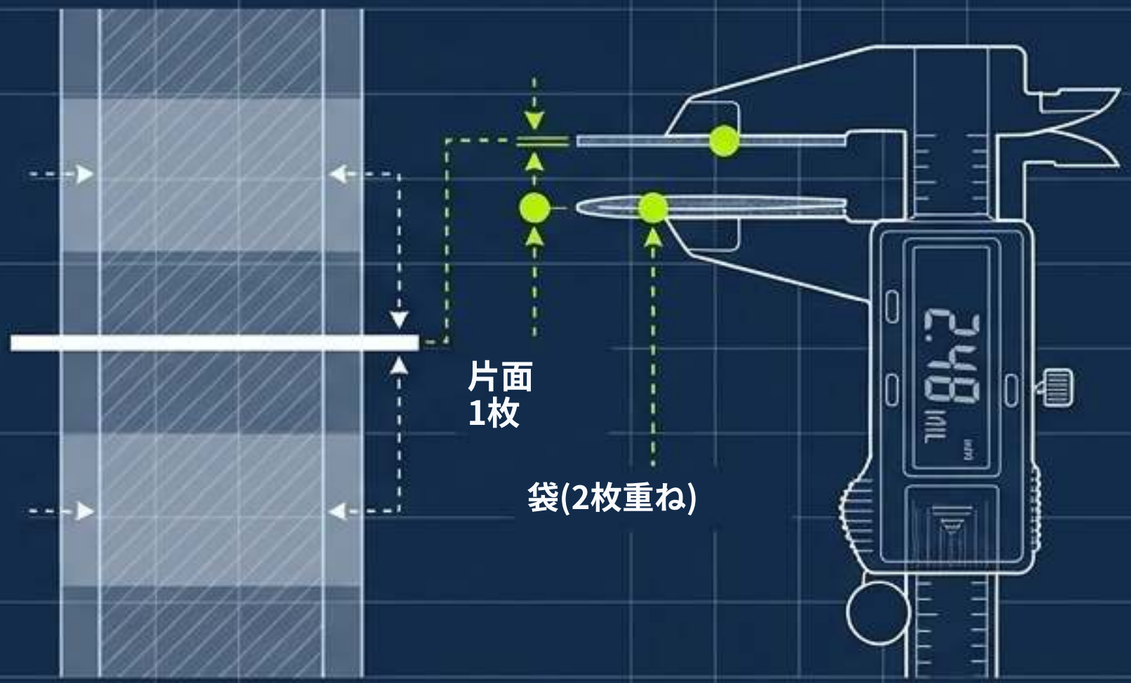
1. 厚さと許容差
2. 構造と不透明度
3. 印刷とカバー範囲
4. クロージャーの仕組み
5. 環境表示
6. 実物サンプルテスト

チェック1:「mil」の錯覚

1 mil = 25.4 マイクロメートル(µm)

2.0、2.5、3.0 milは市場の目安であり、
耐荷重の等級ではありません。

USPSは最低mil値を定めていません。



診断チェックリスト

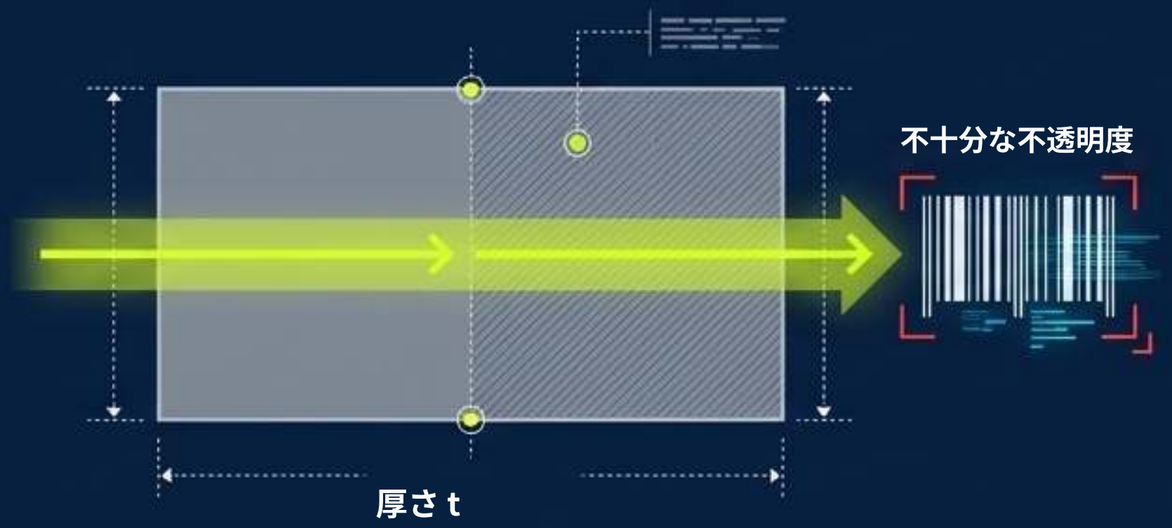
- 測定基準:見積もりは
  **片面1枚分か、
  袋全体(2枚重ね)のものか?**
- **許容差:公称値からの**
  どの程度の偏差を許容するか?
- 測定方法:フィルムは
  規格(例:ASTM D6988)に従って測定されているか?

危険信号:許容差の記載がない「mil」値だけの見積もりは無意味です。

チェック2:構造と不透明度

単層

単一の樹脂溶融物から押出成形。顔料を全体に混合。目隠し性能には多量の顔料が必要。



共押出

1回の工程で複数層を形成。白い外層で鮮明な印刷、暗い内層(グレー/黒/シルバー)で遮光。

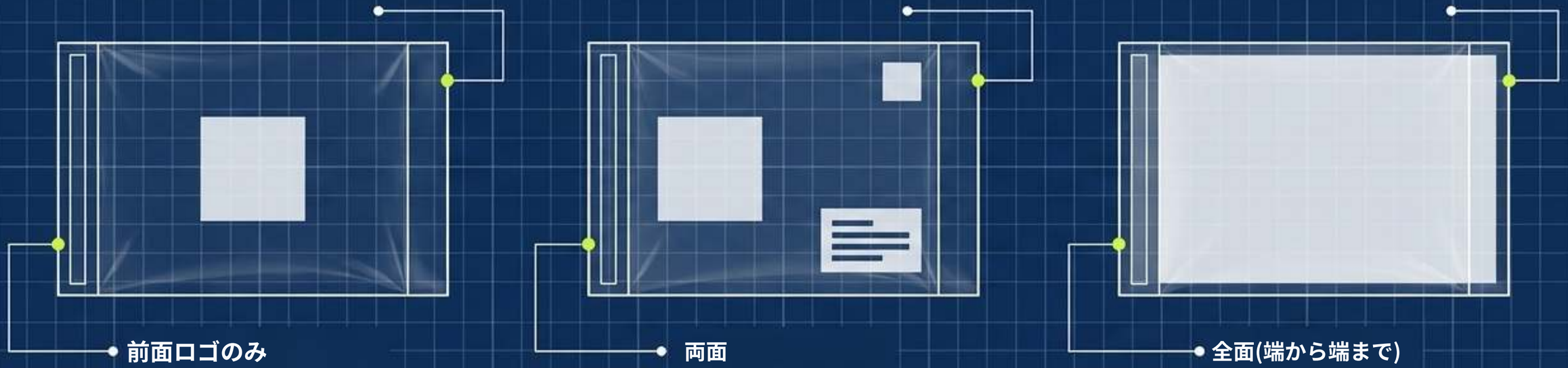


診断チェックリスト

記載された厚さは多層フィルム全体を指していますか?
すべての層がポリエチレン(PE)ですか?
注:APRガイダンスでは、リサイクルにおいてPEのみのフィルムと非PE層を含むフィルムを区別して扱います。

チェック3:印刷方式とカバー範囲

方式の内訳		
フレキソ印刷:色/面ごとに 個別の版が必要、セットアップ費は全ロットで按分。	デジタル印刷:版不要、大量生産ではコスト高。	グラビア印刷:彫刻シリンダー、超大量生産向け。

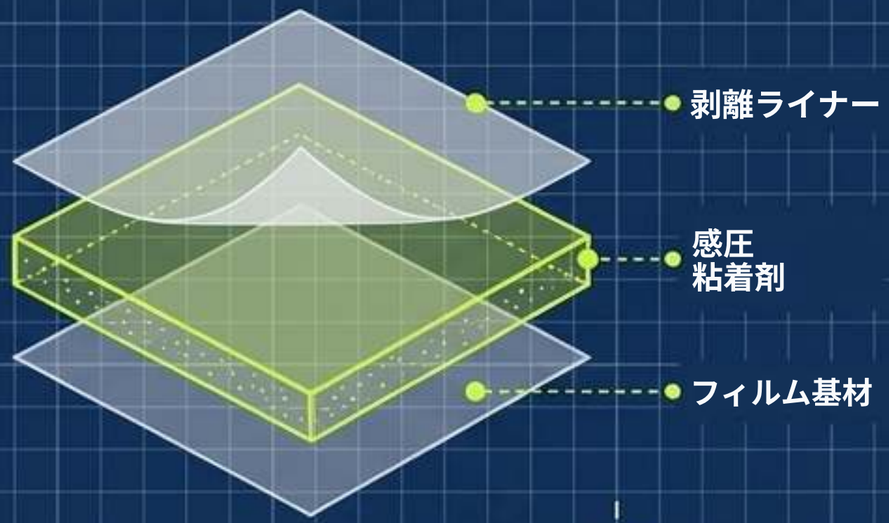


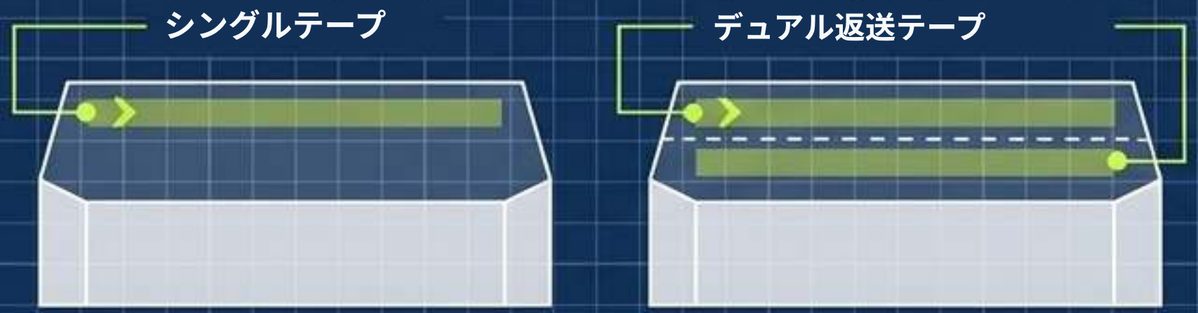
診断チェックリスト

- ✓ カバー範囲は前面のみ、両面、全面のどれですか?
- ✓ 版代は別途請求されますか?再注文時に再利用されますか?
- ✓ 着色フィルムと白フィルムでPantoneブランドカラーはどう扱われますか?

チェック4:クロージャーの仕組み

基本概念:シール不良は、相性の悪い粘着剤や梱包ラインでの押圧不足から生じます。



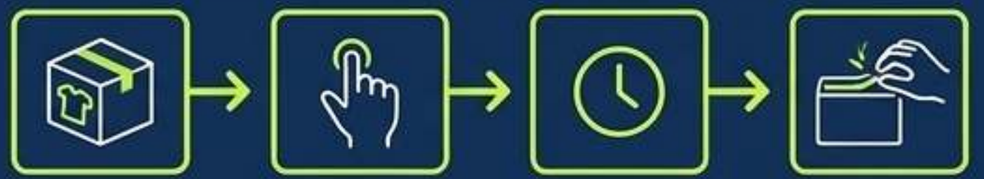


診断チェックリスト

- ☑ テープ幅と粘着剤の種類は?
- ☑ 改ざん防止機能はありますか?
- ☑ 返送用の2本目のテープは必要ですか?

(注:Zigpacではこれらを「カスタム返送対応ポリメーラー」として別途掲載しています)。

倉庫テストの手順



最も重い衣類を梱包
通常の手の力で封をする

24時間待つ

工具を使わずに開封を試みる

冷蔵/高温保管の極端な条件でテスト

チェック5:環境表示への対応

原則:環境表示の法的リスクを負うのはサプライヤーではなく、貴社ブランドです。

「リサイクル可能」表示

フィルター1:FTCグリーンガイド(16 CFR §260.12)

60%以上の消費者が利用できる施設がありますか?(ポリエチレンは不適合)

フィルター2:カリフォルニア州 SB 343

リサイクルマーク(循環矢印)の使用制限

結果:店頭回収

家庭の資源ごみ回収(カーブサイド)には出さないでください

診断チェックリスト

- ☑ 再生材はポストコンシューマー(PCR)ですか、ポストインダストリアル(PIR)ですか?
- ☑ お客様のロットに特定して紐づく取引書類はありますか?

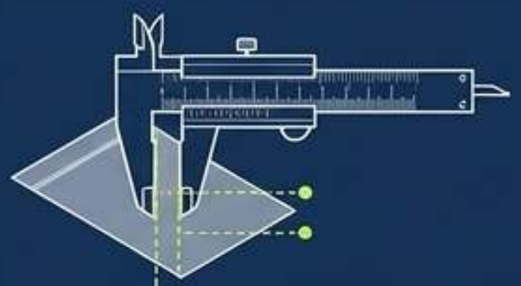
危険信号:#4 LDPE樹脂コードは

識別コードであり、
リサイクル表示ではありません(ASTM D7611)。

チェック6:実物という唯一の根拠

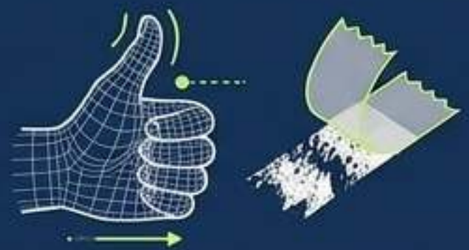
eProofはレイアウトを確認するものです。インクがポリエチレン上でどう定着するかは示せません。実物サンプルこそが実際の生産品質を示す唯一の証拠です。

ラボレポート



測定:

片面1枚を記載の
許容差と比較



耐摩擦性:

印刷面を強くこすり、
梱包テープを貼って剥がす



不透明度テスト:

空の袋を
強い光の下で暗い文字の
上にかざす

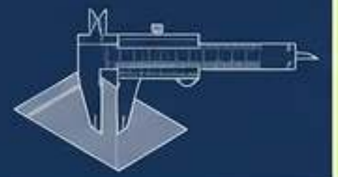
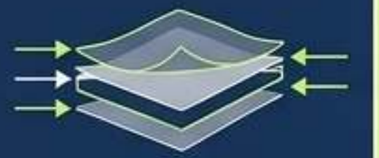


臭気テスト:密封

サンプルを数日後に開封し、
衣類に移る
臭いがないか確認

承認の原則:アートワークから直接量産に進まないでください。
(Zigpacは無料のeProofと、5~30米ドルの実物サンプルを提供しています)。

サプライヤー評価スコアカード

評価基準	書面で確認すべき点	実物サンプルのテスト方法	危険信号
厚さ	公称mil、基準、許容差	片面1枚の測定値 	許容差のないmil値
構造	単層か共押出か、各層の色	内側/外側の色の一致 	構造の記載がない「プレミアムフィルム」
不透明度	目隠し方法	光の下での暗い文字の判読性 	不透明度の方法が記載されていない
印刷	方式、インク色、カバー範囲	摩擦・テープテスト 	カバー範囲の詳細がない「カスタム印刷」
コスト	袋代、版代、送料の内訳表示	該当なし 	内訳に分けられない一括の総額

ZIGPAC

単価 vs. 着地コスト比較表

サプライヤーを公平に比較するには、すべての見積もりを同じ5項目に組み直してください。版代、送料、関税が除外された低い単価は、透明性のある高めの見積もりよりも一貫して割高になります。

サプライヤーA

単価 $0.15

+ 色ごとの版代
+ 必須の有料サンプル
+ 未計算の送料

サプライヤーB

単価 $0.18

- 版代込み/内訳明記
- 正確な送料
- 総コスト

セットアップ費用が再注文時にも発生するか確認してください。これにより2回目の生産コストが大きく変わります。

総括:着地コストの構造

実物サンプルなしに単価は検証できません。
透明な見積もりなしに着地コストは検証できません。

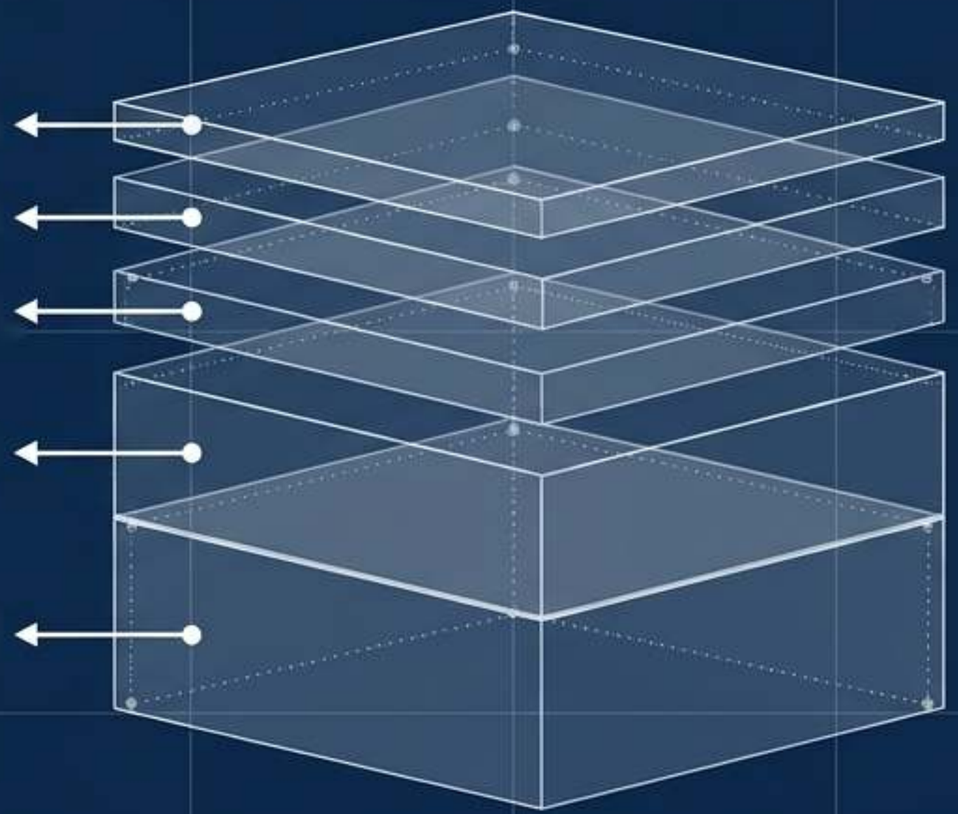
第5層(外側):輸入関税

第4層:送料と物流

第3層:実物サンプル費用

第2層:セットアップ費と版代
(印刷カバー範囲に連動)

第1層(中核):袋の単価
(数量/価格帯に連動)



真の着地コスト

基準価格の目安(2026年11月):Zigpacの掲載価格帯は500枚以上で0.28米ドルから10,000枚以上で0.08米ドルまで(最終価格は製品ごとの見積もりによる)。数量は基礎層を根本的に変えます。

完璧なRFQチェックリスト

見積もりを依頼する準備ができたら、以下のパラメーターを正確に送付し、
着地コストが正確かつ検証可能になるようにしてください:

- [ ] 寸法と荷重:梱包後の製品サイズと最も重い商品の重量。
- [ ] 数量:注文数量と今後の再注文の見込み。
- [ ] アートワーク:色指定(Pantone)と正確なカバー範囲(前面/両面/全面)。
- [ ] クロージャー:シングルテープか、返送用の2本目のテープか?自動梱包機の機種(使用する場合)。
- [ ] 物流:正確な送料/輸入費算出のための最終仕向地。
- [ ] コンプライアンス:予定している環境表示(アートワーク作成前の書類確認のため)。

Zigpacは最終MOQ、正確なスケジュール(標準7~10日)、無料のeProof、
そしてすべての項目を検証するための実物サンプルを提供します。

Zigpac